

空港の案内ロボットとして Pepper を活用する実証実験を実施

～「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」の第1期採択事業として～

ソフトバンクロボティクス株式会社は、M-SOLUTIONS 株式会社、アストラテック株式会社の協力のもと、空港の案内ロボットとして Pepper を活用する実証実験を、2017年1月中旬より羽田空港で実施します。今回の実証実験は「Haneda Robotics Lab」が推進する「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」の第1期採択事業として行います。

「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」は、羽田空港へのロボットの導入をより加速させていくため、「清掃ロボット」「移動支援ロボット」「案内ロボット」のテーマに沿ったロボットの技術を募集し、実証実験を行うものです。

今回の実証実験では、案内ロボットとして Pepper を羽田空港に設置し、簡単に多言語設定ができる M-SOLUTIONS 株式会社の「Smart at robo for Pepper」を利用して、空港の施設やフライト情報などを日本語、英語、中国語で案内します。案内の際は、人を感知するセンサーと Pepper を連携させる M-SOLUTIONS 株式会社のソリューションを活用することで、人の動きに合わせたコミュニケーションができ、Pepper だけでは人を感知できない距離でも、声をかけることができますようになります。また、アストラテック株式会社が提供するロボット遠隔操作システム「VRcon for Pepper (ブイアールコン・フォー・ペッパー)」を活用することで、オペレーターが遠隔で Pepper を操作して案内を行えるようになります、問い合わせ内容に合わせた臨機応変な対応が可能です。

■「Haneda Robotics Lab (ハネダ ロボティクス ラボ)」について



「Haneda Robotics Lab」は、羽田空港を管理・運営する日本空港ビルデング株式会社がオール羽田の取組として設置した、ロボットの技術検証を目的に、羽田空港でロボット製品(プロトタイプ含む)の実験導入を行う「羽田空港ロボット実験プロジェクト 2016」の推進組織です。

なお、本プロジェクトは、経済産業省「ロボット導入実証事業」を活用し、政府が進める「改革 2020」プロジェクトの実現に向けた取り組みの一つとして、国土交通省および経済産業省と連携して実施するものです。

詳しくは特設サイトをご確認ください。

特設サイト URL : <https://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/hanedaroboticslab/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - その他、本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。
 - このプレスリリースに記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。
-

【本件に関するお問い合わせ先】

<ソフトバンクロボティクス株式会社 広報室> Tel : 03-6889-2300 E-mail : sbpr@softbank.co.jp

<アスラテック株式会社> E-mail : info01@asratec.co.jp

<M-SOLUTIONS 株式会社 ビジネス開発部> Tel : 03-6892-3070 E-mail : msol_biz@m-sol.co.jp